

# 黒滝ノ沢

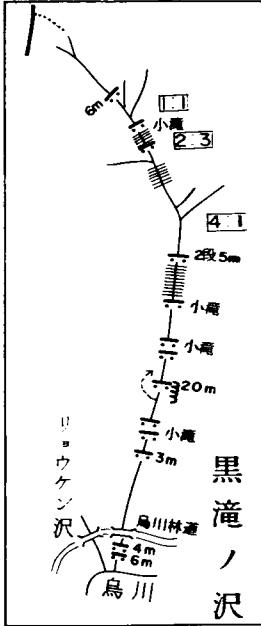
昭和

一九八五年六月二三日

烏川林道のゲート手前に車を置き、身仕度して歩きはじめ。黒滝ノ沢にかかる第三号橋までは二〇分程で着く。

八時五〇分、遊行開始。小滝をいくつか越していくと、さっそく二〇分にはあろうかと思われるF1にぶつかる。この沢にはこれ以上の大きさをもつ滝はなく、

沢の名前にもなっている黒滝ではないかと思われる。水量はそう多くないものの、二段になって落ちる様は



見事である。福島キャノン山の会の記録によると、左岸を直登できるということであるが、ヌルがついているのでいやらしい。私達は右岸の草付を捲く。そのあとは一〜三つの小滝が続き、二段五つの滝を越えると、はじめて枝沢が左岸より入る。水量比は四対

一くらいである。やがて右岸に枝沢が入ると、その上部は一〜二つの小滝が時折出てくる程度となる。

一〇時〇五分、二俣に分かれる。私達は七五七ピークに突き上げる左俣を進む。すぐに左岸から小沢が入り、六つの滝にぶつかる。左岸を楽に直登できる。

沢は源頭の様相をみせ、一五分も進むと水は濁れて沢も終わりとなる。そう濃くもないヤブを一五分程こいで、七五七ピーク近くの尾根に出る。(記)

「タイム」 烏川林道ゲート(八二二

五) ↓ 第三号橋(八四四、八五五)

〇) ↓ 遊行終了(一〇二二五) ↓ 七

五七七ピーク(二〇二四〇)